

平成31年度  
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
 成果報告書

団 体 名	公益財団法人文京アカデミー	
施 設 名	響きの森文京公会堂 (通称: 文京シビックホール)	
助 成 対 象 活 動 名	人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	3,790	(千円)
公 演 事 業	0	(千円)
人材養成事業	1,083	(千円)
普及啓発事業	2,707	(千円)



(2) 平成31年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	吹奏楽奏者養成プログラム 吹奏楽クリニック	7月2日～7月31日	シエナ・ウインド・オーケストラのメンバーによる、パート別・セクション別の基礎練習指導、東京都吹奏楽コンクールに向けた全体指導	目標値	105名
		区立中学校 10校		実績値	96名
1	吹奏楽奏者養成プログラム シエナ de アン・コン!	12月7日	シエナ団員の審査によるアンサンブルコンテスト 審査員：佐々木理恵、長谷川貴大 ゲスト審査員：長生淳（作曲家） 出演：A部門小学校/3団体、B部門中学校/11団体、C部門高等学校/6団体、D部門大学・一般/4団体	目標値	参加者 120名 入場者 200名
		文京シビックホール 内施設		実績値	参加者 125名 入場者 300名
1	吹奏楽奏者養成プログラム 吹奏楽 3UP プロジェクト	11月10日	シエナと連携して地域における楽器演奏者の拡大・育成と、吹奏楽の裾野を広げることを目指す。講師：西田紀子（フルート）、中村めぐみ（クラリネット）、柴村正吾（サクソフォン）、熊代祐子（トランペット）	目標値	100名
		文京シビックホール 内施設		実績値	96名
2	バレエを題材にした舞台 関係人材養成プログラム A	9月24日～10月4日	牧阿佐美バレエ団「三銃士」公演時に専門家・関係者から舞台制作、照明、美術、衣裳、企画制作等を学ぶ	目標値	240名
		文京シビックホール 内施設、 跡見学園女子大学		実績値	126名
2	バレエを題材にした舞台 関係人材養成プログラム B	11月30日～12月13日	牧阿佐美バレエ団「くるみ割り人形」公演時に関係者・専門家から舞台制作、照明、美術、衣裳、指揮、企画制作等を学ぶ	目標値	240名
		文京シビックホール 内施設		実績値	267名
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

(3) 平成31年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム 東京 フィル・親子で楽しむ“は じめてのオーケストラ”	8月24日、25日	出演：松村秀明(指揮)、赤星啓子(ソ プラノ)、晴雅彦(バリトン)ほか 内容：音楽劇「みにくいアヒルの子」 ほか	目標値	635名
		シビックホール 小ホール		実績値	606名
1	meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム 小中学校出前コンサート	6月20日、21日ほか	出演：鼓童、シエナ・ウインド・オ ーケストラ、東京フィルハーモニー 交響楽団	目標値	1,580名
		区内小中学校6校		実績値	1,466名
1	meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム アーティスト・イン・音楽室	1月24日	出演：藤井はるか(パーカッション) ほか プログラム：「ガイーヌ」より “剣の舞”ほか	目標値	80名
		区内小学校		実績値	101名
1	meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム 文の京コミュニティコンサ ート	9月23日	出演：シエナ・ウインド・オーケス トラメンバーによるフルート・トリ オ プログラム：星に願いを ほか	目標値	20名
		宇宙ミュージアム 「TeNQ」		実績値	75名
1	meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム 福祉施設等アウトリーチ コンサート	9月24日	出演：福島青衣子(ハープ) プログラム：カノン/パッヘルベル、 ドビュッシー/亜麻色の髪の乙女、 輪ゴムハープ体験 ほか	目標値	50名
		教育センター内b-lab ホール		実績値	81名
2	バレエ普及啓発プログラ ム 「幼稚園バレエワークシ ョップ」	2020年1月30日	区立幼稚園に事業提携団体・牧阿佐 美バレエ団講師が訪問、バレエエク ササイズを通してバレエに親しむ。	目標値	25~50名
		文京区立青柳幼稚園		実績値	19名
2	バレエ普及啓発プログラム 「はじめてのバレエレッ スン」	6月2日、11月17日	牧阿佐美バレエ団講師による、親子 対象の初心者向けバレエ体験レッ スン。	目標値	120名
		シビックホール内施設		実績値	102名
2	バレエ普及啓発プログラム 「バレエエクササイズ講 座」初級・中級	5~7月、10~12月	牧阿佐美バレエ団ダンサーによる、 区民を対象としたバレエエクササ イズ講座。	目標値	30名
		シビックセンター内施設		実績値	30名
2	バレエ普及啓発プログラム 「バレエを楽しむ基礎知 識講座」	10月~12月	舞踊研究者による全8回のバレエ解 説講座。牧阿佐美バレエ団「くるみ 割り人形」公演と連動して実施。	目標値	40名
		シビックセンター内施設		実績値	28名
				目標値	
				実績値	

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>「芸術文化を通して地域の人々とアーティストとをつなげ、芸術文化に関わる人材を育て、創造の場となる」というホールのミッションに基づき、4 つ芸術団体と提携を結んでいる特性等を生かしつつ、以下の事業を実施した。</p> <p>■吹奏楽奏者養成プログラム</p> <p>吹奏楽のコンテストや吹奏楽曲の発表会に利用され、多くの吹奏楽ファンや中学・高校の吹奏楽部員が集うホールである特性を考慮し、事業提携するシエナ・ウインド・オーケストラと協力し、吹奏楽演奏者養成を目的とした事業を計画通り実施した。</p> <p>■バレエを題材にした舞台関係人材養成プログラム</p> <p>区内に大学を多数あり、文化への興味関心が高いといわれる地域特性を考慮し、事業提携団体である牧阿佐美バレエ団協力のもと、総合舞台芸術であるバレエの舞台制作業務を各専門家から学ぶ講座を展開した。</p> <p>■meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム</p> <p>事業提携する東京フィルハーモニー交響楽団、シエナ・ウインド・オーケストラ、太鼓芸能集団 鼓童と協力し計画どおり事業を行った。</p> <p>■バレエ普及啓発プログラム</p> <p>事業提携団体による年4回のバレエ公演のほか、貸館によるバレエ公演も多い特性を生かし、子どもから大人まで様々な年代の地域の人々がバレエに興味を持ち、ホールに足を運ぶことを目標に事業を行った。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>芸術団体と提携し地域に密着したホールとして、芸術団体が擁する「プロ」と地域の「人」を結びつける役割を果たした。学校については日頃の連携を活かし、学校の要望を確認しながら事業を進めた。助成を得たことで、参加者の経済的な負担を軽減でき、学生等、これから文化芸術に携わる人の意欲向上やスキルアップに繋がった。</p> <p>音楽普及プログラムの一環として施設で行ったアウトリーチでは、施設職員からの要望を基にアーティストとオリジナルの企画内容を作ることができ、普段なかなかホールに行く機会がない施設利用者に音楽を身近に楽しんでもらいたいという施設側の希望を叶えることができた。また、アーティストにとっても訪問先のニーズに対応した新しいプログラムを考案する良い機会となった。</p> <p>また、バレエ関連事業においては、参加者が各制作分野の専門家と直に接する場を設けることで、舞台制作の仕事について考え、更には芸術文化を支え、維持することの意義を感じられる機会となった。</p>

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

#### ■吹奏楽奏者養成プログラム

事業提携団体であるシエナ・ウインド・オーケストラと連携し、地域の中学生や吹奏楽経験者に対し、プロの視点から指導を行い、演奏技術の向上を図った。

##### ・吹奏楽クリニック

普段の指導では手が届かないところを中心に技術向上を図ることができた。吹奏楽コンクールでは出場した文京区立中学校9校の成績が銀賞6校、銅賞2校という結果を納めることができた。

##### ・シエナ de アン・コン!

コンテストでは、各団体の演奏直後に審査員が講評を行うとともに、各部門終了後には採点結果を公表した。出場団体は、事前レッスンとコンテストの講評により、2段階でレベルアップを図ることができた。吹奏楽連盟主催のアンサンブルコンテストでは「シエナ de アン・コン!」出場者のうち、4団体が入賞した。

##### ・吹奏楽3upプロジェクト

プロによるマンツーマンの演奏指導に非常に満足したとの声をいただき、参加者数も目標の100名に迫る、96名の参加をいただいた。

#### ■バレエを題材にした舞台関係人材養成プログラム

参加者はプロの指導によって演奏技術や専門知識の向上や習得が図られただけでなく、その意気込みを実感していた。「職業として考えたい」、「仕事の参考となった」との感想をいただいた。

・講座B（一般対象、8講座+特別講座1講座）参加者目標値240名のところ、267名を達成できた。

#### ■meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム

各分野の第一線で活躍している事業提携団体の豊富な知識、経験、スキルを活用して、地域の文化芸術の中核ホールとして地域の方々に良質な実演芸術を気軽に体験できる機会を提供できた。

##### ・東京フィル・親子で楽しむ“はじめてのオーケストラ”

チケット販売数はほぼ完売近くまで達成でき、来場者アンケートでは公演内容の満足度5点満点中4.7点を達成できた。

##### ・出前コンサート及びアーティスト・イン・音楽室

「生のオーケストラを聴く機会がなかなかないため、貴重な時間となった」「プロによる高い技術の演奏を目の当たりにし、児童たちにとっては得難い貴重な体験となった」等、学校の先生から満足の声をいただいた。

#### ■バレエ普及啓発プログラム

プロの技術に生で接することで、参加者たちは音楽やバレエの魅力を体感し、今後の公演集客の一助となっている。

##### ・はじめてのバレエレッスン

当日欠席者がいたため、参加者数は目標値が120名のところ102名であったが、応募の段階においては定員を上回る応募があり、抽選となった。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

#### ■吹奏楽奏者養成プログラム

##### ・吹奏楽クリニック

シエナ団員による指導について各校に事前調査を行い、希望に添うように調整し講師を派遣した。各校とも8月上旬開催の吹奏楽コンクール出場に向けてレベルアップを図った。

実施期間：7月2日～7月31日 実施回数30回（3回×全10校）

##### ・シエナ de アン・コン！

1月開催の東京都のアンサンブルコンテストに向け、模擬コンテストとして活用できるよう演奏時間や編成等、本番に近い条件とした。審査員はコンクール等で審査経験のあるシエナ団員と吹奏楽曲を手掛ける作曲家に依頼した。また参加団体には、事前にシエナ団員による演奏指導を付け、演奏技術の向上を図った。

実施日：12月7日 10：30～20：20

##### ・吹奏楽3upプロジェクト

吹奏楽に興味を持つ人が、気軽に無料参加できるイベントとして、シビックセンター地下1階の施設を貸切で開催した。実施日：11月10日 11：00～16：00

#### ■バレエを題材にした舞台関係人材養成プログラム

舞台制作現場をリアルに学ぶために、事業提携団体の公演に合わせ講座を実施した。費用面では、補助を得たことに加え、講師の協力により、参加費を1講座500円にまで下げ実施できている。

・講座A（跡見学園女子大学学生対象） 9月24日～10月4日 全7回 「三銃士」公演に合わせて実施

・講座B（一般対象） 11月30日～12月13日 全8回+特別編1回「くるみ割り人形」公演に合わせて実施

#### ■meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム

##### ・東京フィル・親子で楽しむ“はじめてのオーケストラ”

夏休みに家族で来場できるよう開催。子ども連れの保護者からのニーズに沿い、開演時間を午前中に設定。

実施日時：8月24日（土）、25日（日）各日11：00開演

##### ・福祉施設等アウトリーチコンサート

区内にある施設で実施し、対象はいずれも施設を利用している乳幼児と保護者（午前）、小中学生（午後）とすることで、会場を変えずに1日で2つのコンサートを行うことができた。

実施日時：9月24日（火）①10：30開演 ②13：15開演

#### ■バレエ普及啓発プログラム

事業提携団体の実際の公演に合わせ関連したテーマで講座を実施、実際の公演鑑賞を連動させることで、文化育成の面からもより効果的に事業を展開できた。また、各受講者層に合わせた期間・機会設定を心掛け、受講者が参加しやすいように工夫した。特に「はじめてのバレエレッスン」では毎回定員を大きく上回る応募を得ている。

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### ■吹奏楽奏者養成プログラム

3事業とも、事業提携するシエナ・ウインド・オーケストラの人材やノウハウを活かし実施した。

##### ・吹奏楽クリニック

事前に学校側のニーズを把握し調整した上でシエナの団員を中学校に派遣する等、区立中学校との日頃からの連携を活かし、学校側の要望や生徒のレベルにあわせた指導を行うことができた。また、生徒もプロの演奏家と接することで、演奏技術の向上や音楽を継続する動機付けになった。

##### ・シエナ de アン・コン！

吹奏楽のコンテスト等が行われる地域特性を活かし、アンサンブルを組む吹奏楽演奏者に発表の場とスキルアップの機会を提供した。

##### ・吹奏楽 3up プロジェクト

吹奏楽部等で楽器の演奏経験がある人は少なくない。現在は楽器演奏から離れていた人がシエナの定期演奏会でオーケストラと一緒に演奏するイメージで企画し、そのために役立つ演奏指導等のプログラムを提供した。コンサートの会場となるホールとオーケストラが連携・協力し、演奏を楽しむ人を掘り起こし、育成する事業となった。

#### ■バレエを題材にした舞台関係人材養成プログラム

実際のバレエ公演に合わせ事業を実施することで、舞台制作各分野のプロの仕事を見・聴き、体験できる講座とした。舞台機構を説明する講座を安全かつ効果的に実施するためには、主催側の舞台関係者と劇場施設側スタッフの連携が不可欠であり、事業提携団体を擁し何度も公演を重ねてきた当ホールならではの事業となった。

さらに、講座Aでは、区内大学と連携、大学準カリキュラムとして、大学教室も借用し、講座を実施した。

#### ■meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム

事業提携団体をはじめ、第一線で活躍しているプロのアーティストによる演奏を身近に感じられる機会を提供することができた。

##### ・東京フィル・親子で楽しむ“はじめてのオーケストラ”

子どもたちがよく知っている童話とオペラ歌手やミニオーケストラによる本格的な演奏を組み合わせ、楽しくクラシック音楽に親しめる事業となった。

##### ・福祉施設等アウトリーチコンサート

普段コンサートに来る機会が少ない親子や小中学生に、プロのアーティストと接することができるオリジナルの参加型コンサートを提供できた。

#### ■バレエ普及啓発プログラム

事業提携団体と連携することで人材を確保し、効果的に事業を展開した。

##### ・幼稚園バレエワークショップ 区立幼稚園園長会協力のもと、毎年1園ずつ区内幼稚園を訪問している。

##### ・はじめてのバレエレッスン お稽古事を考える年代の親子が安心してバレエを体験できる場となっている。

##### ・バレエエクササイズ、基礎知識講座

当財団では所有する複数施設で、区民を対象とした複数の講座を定期的で開催し好評を得ている。その講座の一つとして、区民以外の受講生枠も設けて実施、固定ファンもいる講座として人気を得ている。

## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

### ■吹奏楽奏者養成プログラム

吹奏楽クリニック、シエナ de アン・コン！、吹奏楽 3up プロジェクトの 3 つの人材養成プログラムを関連させて実施したことにより、小学生から成人まで、幅広い世代の吹奏楽愛好者に対し、演奏する機会と演奏技術を向上させる機会を提供でき、実演芸術の振興及び地域の文化芸術の発展に寄与した。

### ■バレエを題材にした舞台関係人材養成プログラム

- ・ 講座 A（跡見学園女子大学学生対象）

受講した学生約 10 名が、バレエ公演の現状や問題点について調査・研究し、報告会を行う自主研究ゼミを展開。事業提携団体である牧阿佐美バレエ団担当者とともに地域の学生たちからバレエや地域におけるホールの在り方について、考えを聞く機会を持つことができた。

- ・ 講座 B（一般対象）

講座終了後、多くの受講者が直接講師に質問、活発なやりとりが見受けられた。プロに接することで将来の目標となったという意見のほか、今後、公演鑑賞の際に舞台全体についても気を配りたいという意見も複数あり、人材養成の入門講座として舞台芸術活動全般について考える機会になった。

### ■meet the music in Bunkyo 音楽普及プログラム

導入コンサート、楽器体験プログラム、出張コンサートの 3 つのCATEGORYに分けたプログラムを通じて、様々な手法により第一線で活躍しているプロのアーティストによる演奏を身近に感じられる機会を提供することができた。また、普段ホールになかなか来られない子どもたちに良質な音楽を楽しんでもらうことができ、将来に向けて実演芸術の振興や地域の文化芸術の発展の寄与することができた。

### ■バレエ普及啓発プログラム

- ・ 幼稚園バレエワークショップ、はじめてのバレエレッスン

幼少期からバレエに触れる機会を創ることでバレエを身近に感じ、ホール来場の機会創出につなげることが可能になる。

- ・ バレエエクササイズ、基地知識講座

バレエ公演と結びつけ実施することで、作品の理解を深め、舞台芸術を身近に感じることができ、文化芸術振興の一助となっている。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

当財団では事業・組織強化のため経営計画を策定し、その確実な遂行のため、毎年、財団全体で進捗状況を確認し達成度を評価している。結果を理事会、評議員会で報告し、意見聴取の上、次年度の事業計画に反映させており、計画事業は継続的に検証、改善され、機能強化が図られている。

今回の助成事業も経営計画に基づいた事業であり、助成を得て実施することで廉価にあるいは無料で、質の高い事業を地域の人々に提供、ホールの機能強化につながった。

【経営計画】「区民ニーズや社会環境の変化に応じた創造的な事業の展開」

- 1) さまざまな世代の方が参加できる、多様なプログラムや伝統芸能などを含め、新たな事業を展開する。
- 2) 区民が気軽に文化芸術に参加するきっかけづくりを継続的に行う。

バレエ関連事業では、様々な切り口で事業を展開することで、幼年期から70代まで、地域における文化芸術振興の拡大につながる事業となっている。また、若い世代が舞台制作分野の一流の専門家に直に接し学び・体験することで、文化芸術の維持について考える有効な機会を創出できている。さらに、受講した区内大学の学生達による自主研究発表会も開催され、地域における文化芸術振興の拡大にもつながる事業となった。

また、吹奏楽3upプロジェクトは吹奏楽愛好者の裾野拡大を目的としており、誰でも参加できるイベントとして地域の人々が気軽に参加できる事業となった。

【経営計画】「提携団体との連携による事業の一層の充実と深化」

- 1) これまでの鑑賞事業やアウトリーチ事業のほか、バレエ・エデュケーション・プログラム等、提携団体ならではの密度の濃い通年プログラムを実施する。

助成事業は、全て当財団が事業提携する芸術団体との協力のもと行われた事業であり、提携団体の協力により、質の高いプログラムが実現し地域の人と文化芸術をつなぐ事業となった。

【経営計画】「経営基盤の強化、安定化」

- 1) 財団の事業目的は公益の実現であり、公益目的事業を中心に事業展開すると同時に、効率的な運営に努め、その結果として余剰財源が生じた場合は、事業を通じ、広く地域社会に還元する。

助成を得ることは経営基盤の強化、安定化に不可欠である。今回の助成により経営的な裏付けを得て無料または廉価で提供でき、当財団が持つ資源を広く地域に還元できた。